

1.25 Sunday

今回のベトナム出張は初日、それも札幌でのスタートが肝心でした。今年は年初から色々とトラブルが続き、先週はついに1人だけ飛行機に乗れないという状況にまでなりました。ですので、札幌が大雪になりそうという情報に早い段階で敏感になっていました。まず前日（前日まで東京だったのですが）に羽田から札幌に向かう際に、地上係員の人と少しうち合わせをして、もし日曜の札幌一東京が欠航になる可能性があったら、札幌に戻らずにそのままベトナム出張に備えるんだけだと相談しました。色々調べてくれて、早い便なら大丈夫そうですよとのこと。変更も可能ですよとのことでした。その言葉に従って札幌に戻りました。

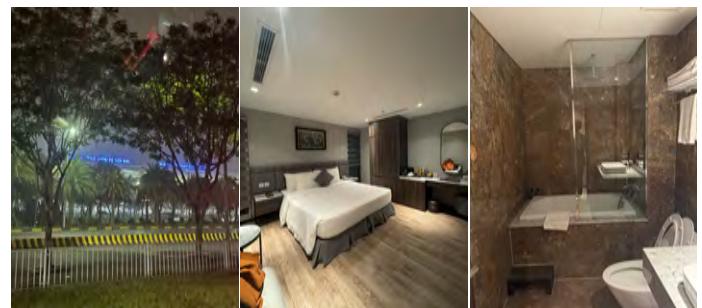
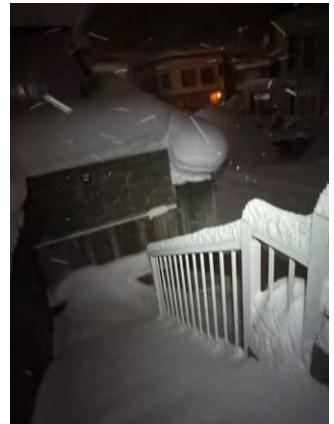
早朝に（いつものように）目が覚めると外はかなりの雪が積もっていました。同行するPDに連絡をして早めに空港に集合として、家を6:30頃に出て駅まで送ってもらおうとしたのですが、ちょうど除雪車が家の前を除雪したところで、まずは家の前の雪を除雪。。。と思ったらお隣さんが除雪機で除雪してくれました。ありがとうございます。ところが車を出してすぐに除雪車が道の真ん中に遮るように雪山を残しています。しばらくしてから片付けてくれるのはわかっていたのですが、電車の時間が迫っています。ビビる妻をけしかけて雪山に車でツッコミ、雪を蹴散らせて乗り越えました。気温が低いし、新雪なので大丈夫と判断したのが正解でした。ただ、その後も市内の幹線道路も除雪が追いついておらず、道がガタガタで普段の倍近くかかる駅に到着しました。

JRも遅れています。30分遅れの電車が動き出す寸前に乗り込み新千歳空港に向かいました。その少し後からはJRが運休したそうですのでギリギリでした。空港につき、お願いをして早めの便に変えてもらいました。出発を待っている間にだんだんと雪がひどくなります。

防雪剤をかけまくっている航空機に乗り込みました。でも離陸を待っている間に窓に雪が積もり出しました。なかなか出発しないでヤキモキしながら寝てしまいました。気づくとすでに空の上。40分くらいの遅れで飛んでくれました。あとで知りましたが、JRは自分たちの乗った少しあとの便から運休になっているし、飛行機も自分たちの予定していた飛行機は飛んだかどうか。後からのニュースで聞きましたが7000人が空港に寝たということでした。

羽田には1時間近く遅れて到着。成田まではバスで移動しました。荷物が多い時はバスに限ります。その後は順調に。ベトナム、ハノイの

空港には22:30頃に到着しました。ハノイ（ホーチミンもだけど）空港の困るのは入管がとにかく混むこと。それでも今回は30分ほどで通過。荷物も無事に出てきました。空港からの移動はこれまでレンタカーをして対応することが多かつたのですが、現地調整員が決まり、より



効率的な方法に変更です。

Grabの利用です。

宿に到着したのは12時を回っていました。いつものホテルの近くの同じ系列のホテルでした。でも、綺麗で静かで快適です。小さいのですがバスタブもあり（綺麗）疲れた体を休めるのには最適でした。すぐに就寝。

1.25

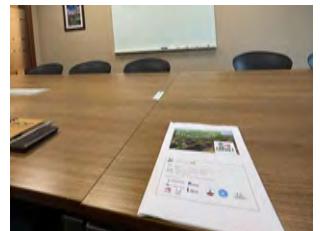
朝食はホテルで。フォーもあります。6時からレス トランが空いています。と、便利なのですが、フォーの味が薄くてちょっと残念でした。でも美味しいです。

今日はまだ人も揃っておらず、午前中は予定を入れていなかったのですが午

後の会議のために印刷物の用意をとの連絡があり、急遽SFI（土壤肥料研究所）を訪問して印刷を行なってもらいました。何名かの共同研究者にもお会いして状況報告を行ったりして遅めの昼食はフォー。このお店は有名店だということでとても美味しいかったです。

大豆のフライ（トウジャンのようなもの）をスープにつけて食べます。これでお腹の空き具合に合わせて食べる量を調節できます。

一度ホテルに戻ったのですが、今日の会議の端目のネクタイを忘れていました。現地のスタッフに購入する場所を聞くとホテルのすぐそばのお店で買えるよということで、行ってみました。スタッフ2名、店員1名の3名の女性に選んでいただいたのは、赤色のネクタイ。自分ではなかなか手が出ない柄で





した。写真を妻に送るとトランプだと言って笑われました（確かに）。午後からの会議はJICAベトナム。わざわざ所長まで会議に出席していただきました。研究の概要を説明させていただき、29日の全体会議への出席をお願いいたしました。そうこうしているうちに夜です。夕食はハノイ伝統料理を食べに行こうということで、スタッフ（ホーチミンの人たち）が探してくれました。

なかなか豪勢です。魚系は川魚をメインに利用しているとのことでした。蟹味噌も利用するのですが、これも川のカニだということでした。野菜の出し方がおしゃれです。ビールもしっかりといただき、21時頃にはホテルに戻って朝（4時頃）までたっぷり寝ました。

1.26

朝食。生野菜が美味で嬉しいです。フォーは相変わらず薄味でした。

同行しているみなさんもフォーの味が薄いとのこと。ナンプラーを入れたりしているとのことでした。

うち合わせの後は、ブンチャー。これもハノイの名物料理です。つけ麺のようにスープに麺をつけて食べます。その際に肉を混ぜて食べるスタイルです。

その他にもおにぎりのような形をしたものを出してくれました。名前を教えてもらったのですが忘れてしまいました。

このお店もホテルの近くだったのですが、店構えはちょっと安っぽいチェーン店のような感じだったのですが、中に入ったらそんな事はありませんでした。竹細工の入れ物をふんだんに利用した内容で、お店の中も伝統的な感じでとても良かったです。（でもお店の名前を忘れた）

食後に再びSFIを訪問します。今回は来年度からの博士候補の研究者の面談です。学部、修士での研究内容、研究所に入ってから取り組んでいる内容、北大に来てやってみたい課程の研究計画はまだまだつめなければならないですが、英語も出来て、好青年でした。



ことなどをプレゼンしてもらいました。博士



夕飯はまた違うハノイ名物のお店に連れて行ってくれました。こちらは最初から鍋。海鮮鍋ということでした。調味料にはエビが原料の醸酵させたもの。これにライムを入れてお箸でしばらくかき混ぜて泡が出てくれば準備完了です。ただ、今回この調味料をどうも食べ過ぎてしまったようです。夜中に目が覚めて胃が痛くてたまりません。胃のなかで発酵が進んでいるような感じでした。おかげであまり眠ることができませんでした。味が良いだけに調子に乗り過ぎました。

1.27

本日は朝からTC（技術ミーティング）です。日越のカウンターパーと通しが成果の内容の共有とこれからの研究内容についての議論です。朝食はフォーとお粥にしました。気合いを入れるために近くにあるハイランドコーヒーでカフェスアダー

9時から3時間の予定での会議です。全体を自分、カテゴリー1から4はそれぞれのカテゴリーの代表者が発表を行うスタイルにしました。さらにカテゴリーによってはさらに細かく分けた場合もありました。日本側に引き続きベトナム側からの発表があり、成果についての確認を行いました。その後、今年度中に着手する内容と来年度に着手する内容についての議論とすり合わせを行いました。予定の時間内ではとても終わりませんでした。結局1時間ほど延長することになりました。特に圃場の今後の管理といった部分に議論が集中しました。なにしろこの生産の部分がプロジェクト全体の成否の鍵となる事は両者とも把握しているのでやむを得ないでしょう。

昼食はベトナム側の研究者と一緒に。

フォーです。牛肉のフォー。先方の代表者が朝よく使うというお店に連れて行って来されました。その後には自分はVAAS（農業アカデミー）の局長に挨拶。他の皆さんAGI（遺伝学研究所）を訪問することにしています。

VAASはベトナム全国の農業関係の組織を統括する機関です。そのため、SFIやAGI、さらにはHLARCといったこれまで別組織として対応をしていたさまざまな機関の親玉になります。



ここうまく連携をとることが可能になると、今後のベトナム内部での研究機関の統合などに対しても柔軟に対応が可能になると想っています。しばらく待たされました。局長が来られて少しの間ですが、研究の内容についての質問やVAASとしてのCarbon neutralityへの取り組みについて話をされました。こちらのプロジェクトには大きな関心を寄せているということでした。

会見の後にAGIに向かいました。AGIでの博士候補生との打ち合わせは自分が到着するまで待っているということでした。修士を取り立ての職員で、これまでの研究内容としてはベクターの構築、特にCRISPR導入のためのベクターの構築についてイネ、馬鈴薯などについて行なったということでした。ただし、ベトナムではゲノム編集作物は食品としては認めておらず、まだ実圃場での栽培ができないということでした。もしSATREPSのプロジェクトで博士課程に進学できるのであればキャッサバへのゲノム編集に調整をしたいということでした。意見交換後にAGIの組織培養室を見学させていただき、お土産に栽培試験を行っているキノコ乾燥物をいただきました。

ホテルに着替えだけに戻り、SFI主催の夕食会になりました。

また、別のハノイ料理のお店でした。



皆さん。明日もありますよー。明日はお偉いさんたちが集まる日です。発表を効率的に行うためにベトナム側も含めて全てをまとめて自分が話すことになっています。なので、みなさん気楽です。。。自分も含めてはいけないのですが。。。左からホーチミンの業務調整員の方の秘書のツンさん（発音とても難しい）、タイニンの圃場を管理してくれるローカルスタッフのノンさん、そしてハノイのSFIの事務取りまとめのジャンさん。みなさんありがとうございます。



1.28

JCCの当日です。今日も9時から3時間の予定です。SFIではベトナム側からは農業・環境省の幹部の方も来られておりました。JICAベトナムから2名。JSTとJICA日本はオンラインでの参加です。

30分、プロジェクトの説明をする機会をいただきました。主にこれまでの成果を中心に話をいたしました。まだそんなに結果も出ていないのでやむなしですが、基礎的なデータが次第に揃ってきていることを嬉しく



思います。これらのデータを丁寧に積み重ねると良いですね。まだ公表できるような状態ではありませんが。合意文書の詳細について丁寧にチェックし（これは面倒なのですが、双方の関係者がいる状態の中できちんと確認することがとても大切なことはわかります）、結局30分以上オーバーして終了いたしました。

疲れました。

昼食にSFIのメンバーと行きました。ご飯が食べたいと主張をして、ご飯も美味しいフォー屋さんに連れて行ってもらいました。自分は大きな川魚の煮付けとご飯。美味しかったです。

マグロの煮付けのような大きさでした。淡白な白身です。鱗がなまずではないですね。なんだろ。

その後、ホテルに戻って着替えてから、せっかくだからハノイの旧市街に皆で出かけようということになりました。もうすぐテトの休暇なのでどこも賑やかです。西湖に行きましたがそこかしこでアオザイを着た女性たちが撮影大会状態です。綺麗に着飾って化粧もしっかりして、みなさんお綺麗で。（写真はなし）

歩き食べ。なんだか甘い中が空洞のお菓子を買ってくれて、みんなでつまみながら市街を歩きます。いくつかお土産さんをのぞいたりしながら時間をつぶします。その後、アイスクリームが大好きという職員さんがお気に入りのアイスクリーム街に連れて行ってくれました。そして1人2個のアイスクリームを振る舞われました。本人曰く、ハノイに来ると時間を見つけて食べに来る

んだよ。1人の時は10種類を食べるんだということです。。。痩せてるんですけどね。

ちょっとお土産を補充いたしました。

結構お腹いっぱいになったのですが、最後にまたしても怪しいお店に。豚のフライ（皮かな？すごく柔らかい）とヨーグルト。なかなか楽しいメンバーでした。みんなでZalo（日本のラインのようなSNS）を交換いたしました。

その後お別れして、ホテル経由で空港に。道が結構混んでいるので余裕を持って移動する必要があります。無事に搭乗もできました。



1.30金曜日

帰国いたしました。が、自分は立て続けに出張です。出張先に向かう前に午前中は研究室の修士のみなさんの発表練習会。予定では新幹線の中から参加します。上野まで向かっていると上野駅で架線が切れて大混雑との情報が。新幹線は大丈夫そうですが不穏な空気です。新幹線に乗って会議が始まるのを待っている間に少し寝落ちてしまい、ちょっと会議に遅れてしまいました。郡山駅で降りたのですが、まだ会議は終わらないのでネットに繋ぎっぱなしで移動します。なんとか終了まで繋いでいられました。最後は駅の待合室でおばさんの隣で頑張りました。郡山駅からは日和田駅に東北本線で移動し、お迎えにきて頂いて福島県農業総合センター本所を訪問いたします。来年度からの放射能対策に関連した研究計画についての打ち合わせでした。色々と大変な状況を共有させていただきました。以前は知っている方ばかりだったのですが、7年間の間に人もだいぶ変わってしまったのがちょっと寂しいです。15時まで打ち合わせを行い、15時から空いている部屋をお借りして今度は土壤肥料学会執行部の皆さんとの会議です。来週に開催されるとある会議での発表練習をさせていただきました。終了して、また駅まで送っていただき、最後は仙台空港の近くのホテルに。順調に仕事が進んだので最終便に間に合ったのですが残念。空港近くのホテルで休みます。大浴場でくつろぎ、スーツケースを詰め直す前にお土産を並べてみました、コーヒーの袋が7袋。それに加えて甘いベトナムインスタントコーヒーが2箱、さらにエッグコーヒーのセットの箱が一つ。コーヒーだらけです。コンビニ飯を食べて、お酒も飲まずに22時には熟睡。



1.31 土曜日

起床。よく寝ました。で、早速運行状況をチェックすると案の定条件付き運航になっていました。すぐに早い便（750）に変更をしました（条件付き運行などの場合は安いチケットでも変更受け付けてくれるので助かります）。空港には7時ちょっと過ぎに到着したのですが、荷物検査が大混雑です。離れたお土産屋さんの方にまで列が伸びていました。結局搭乗できたは5分前。危なかったです。早い便ですが運航は条件付きのままで。千歳空港は雪のようです。

今回のベトナム訪問は短時間でしたが、年度の計画の報告、取りまとめ、次年度の計画の打ち合わせと結構大切な内容になりました。海外との共同研究を行う場合はただ研究を行えば良いのではなく、当たり前ですが政府間、行政組織間、地域コミュニティーなど様々な組織との調整が必要になります。一つでもどこかがうまくいかないと研究はすぐにストップしてしまいます。実際に昨年末の試験プロットの設置の際も、地域コミュニティーに上から書類が届いていないという理由で作業を止められてしまいました。その際には1日かけて現地の調整員、カウンターパートの研究機関の研究者が現地で状況説明とお願いをして許可をもらったのですが、そのような事が極力

起きないように下準備が肝要です。今度現地に行った際には地域コミュニティーの方々を接待する必要がありそうです（確実にあります）。